

岐阜市庁舎に関する市民説明会の開催結果について

下記のとおり、市内3会場において市民説明会を開催したところ、多くの市民の皆様にご参加いただきました。

	日時	会場	参加者数
①	平成26年2月19日(水)午後7時～	市役所本庁舎低層部3階「大会議室」	75名
②	平成26年2月20日(木)午後7時～	北部コミュニティセンター「大集会室」	36名
③	平成26年2月22日(土)午後7時～	南部コミュニティセンター「大集会室」	25名

■概要

岐阜市では、現在の庁舎が老朽化をはじめ様々な課題を抱えていることから、学識経験者等で構成する「岐阜市庁舎のあり方検討委員会」において庁舎のあり方を調査審議していただくなど諸課題の解決に向け、庁舎の建替えを含めて検討を進めています。

今回説明会において、現在の庁舎が抱えている様々な課題及び岐阜市庁舎のあり方検討委員会におけるこれまでの検討経過をご説明いたしましたところ、参加された方々から庁舎の現状や庁舎建替えの必要性などについて数多くご意見をいただきました。



以下、各説明会場において発言していただいたご意見等及び書面でいただいたご意見等と合わせて、これらに対する岐阜市の考え方を報告いたします。

■ご意見等と岐阜市の考え方

①市役所本庁舎会場

	ご意見等(要旨)	岐阜市の考え方
1	市役所の跡地が問題になってくるのであれば、図書館より早くこの話をすべきではなかったのかと思う。	岐阜大学医学部等跡地整備につきましては、厳しい財政状況や変化の激しい時代に対応していくため、財政状況等との整合を図りながら段階的に行っていくこととしています。そうした中、市民意見等で要望の高い施設であ

		ること、「教育立市」を標榜する中、児童・生徒等の学習支援、生涯学習の充実に大きく貢献する施設であること等を踏まえ、「みんなの森 ぎふメディアコスモス」を第1期整備としたものです。
2	濃尾大震災から110年以上経っており、これに対していかにも対応が遅すぎる。早急に建替えるべきと思う。	当地域は南海トラフ巨大地震等の大規模地震の発生が危惧されており、災害対応拠点となる本庁舎が地震で壊れることがあってはならず、早急に対応しなければならないと考えています。
3	50年以上使ってこれからも使うということは常識的におかしい。10年ぐらいに検討されて、今年ぐらいに着工して然るべきではなかったのかと思う。	
4	委員会としての判断ではなく、行政としてはどのように考えているのか。	行政としては、岐阜市庁舎のあり方検討委員会を設置した昨年11月まで内部で検討を進めた結果、建替えるべきと考えています。しかし、委員会においては、白紙の状態から検討していただいています。
6	岐阜市庁舎のあり方検討委員会の議事録やメンバーを公開すべきではないのか。	岐阜市庁舎のあり方検討委員会の委員名簿、資料及び議事概要は市ホームページで公開していますし、議事録も所定の手続きが必要ですがご覧いただくことができます。また、会議は公開されておりますので、どなたでも傍聴していただけます。
7	岐阜市庁舎のあり方検討委員会に、耐震性などは具体的に数字で資料を提供していると思うが、どの程度のものであったか。	平成7年度に実施した本庁舎、低層部及び附属棟のQU値、N値、Is値などの診断結果を委員会に提供しています。
8	委員会発足からわずか3回で結論を出すのは拙速、結論ありきではないか。	委員会では、白紙の状態から検討を始めていただいております。多角的な観点から慎重に検討された結果、結論を導き出されたものと考えています。
9	岐阜市庁舎のあり方検討委員会から市長に中間報告が出された後のスケジュールはどのよ	合併特例債を活用し平成32年度に完成するものと仮定した場合ですが、平成26年度中に

	うになっているのか。	機能、規模及び建設候補地を決定し、平成 27 年度からの 3 年間で基本・実施設計、その後、平成 30 年度から 3 年間で建設というスケジュールを考えています。
10	岐阜大学医学部等跡地となっているが、私たちは具体的にどの程度の範囲を想定したらいいのか。	跡地の北側に現在「みんなの森 ぎふメディアコスモス」を整備していますので、庁舎を建設する場合は南側になります。
11	新庁舎を建設する場合の仮定に 4 万㎡とあるが、現庁舎との比較と 4 万㎡の根拠を教えてください。	現庁舎の延床面積は、本庁舎、南庁舎、西別館、北別館及び明德庁舎を合計して約 2 万 4 千㎡です。4 万㎡は、国の地方債算定基準に基づいて算出したものです。
12	岐阜大学医学部等跡地に建てる場合は何階建てになるのか。駐車場の問題もクリアできるのか。	高さは具体的に試算していませんが、ワンストップサービスが 3 階ぐらいまでで十分に機能できるように建築面積を確保したいと考えています。また、駐車場も十分な台数を確保したいと考えています。
13	市役所を 1 ヲ所にまとめる必要はあるのか。各地域に小規模の事務所を配置しても問題ないのではないか。	現在、本庁舎をはじめ東部や西部など 6 つの事務所及び柳津振興事務所の計 8 か所に、市民の皆様がよくご利用される戸籍や住民票、
14	市役所でしかできない仕事を事務所やコミセンに分散し、市民が徒歩や自転車で行ける身近な地域で用事を済ますことができるようになった方がいいと思う。	税証明、福祉や国保関係などの窓口がありません。ご意見のとおり、このような窓口はお住まいの地域の近くにあることが便利ですが、内部管理部門を分散させる必要はないと考えています。
15	一極集中ではなく、市民の生活をもっと豊かにすることが必要だと思う。	なお、市民の皆様の身近な行政サービスのあり方については、利便性の観点から充実させていく検討が必要であると考えています。
16	インターネットなどの技術が発達してきているのに、大きなものを建てようとするのは考え方が古いのではないか。	新庁舎の機能、規模及び建設候補地については、岐阜市庁舎のあり方検討委員会の今後の検討事項になっていますので、状況の説明や資料の提供を行いながら今後検討していただく予定です。いただいたご意見は、今後の検
17	概ね岐阜大学医学部等跡地の移転に賛成するが、駐車場を大きくとる必要があると思う。	

18	市役所は事務機能が主なのでシンプルな建物にすべき。	討の参考にさせていただきます。
19	一日も早い新庁舎の建設を望むが、現庁舎の跡地の活用方法によっては、新庁舎を新たな場所につくるメリットが増えると考えられる。跡地の活用について現在の検討状況を教えてもらいたい。	現時点では、議論はどこに建設するのかまで至っておらず、跡地が発生するかどうかも未定です。仮に岐阜大学医学部等跡地に移転する場合、平成22年度に策定した岐阜大学医学部等跡地整備基本計画において第3期整備として本庁舎敷地に（仮称）市民文化ホールを整備することが想定されていますが、決定されたわけではありません。跡地が生じる場合、その活用はまちづくりとも密接に関係しますので、庁舎と並行して今後検討してまいります。
20	図書館も市役所も抜けていくとまちの中が空洞化してしまう。周辺の商店への影響や人の流れも変わってしまうので、現庁舎の跡地をまちづくりに活かせる方法、活用方針を積極的に考え、しっかりと示していただきたい。	また、民間活力の活用などいただいたご意見につきましては、今後の検討の参考にさせていただきます。
21	庁舎を新築することによって岐阜市をどのような市にしていくのかという全体的な構想をしっかりと決めてから行うべきではないか。	
22	市役所周辺の官有地を民間に払い下げるなどして、まちの活性化を市だけでなく民間活力を使って資本が投資されるようなシステムを検討していただきたい。	
23	建替えは古いので仕方がないと思うが、移転となった場合、まちの流れが大きく変わると思う。今は商店街に市役所へ通勤する人が来る。柳ヶ瀬、玉宮通りを通過して通勤する職員がどれくらいいるか把握しているのか。	市職員の通勤手段は人事課が把握しており、JR岐阜駅から歩いて通勤している職員数は算出可能です。また、柳ヶ瀬で食事をする職員の割合等は、職員アンケート調査等で把握してまいりたいと考えています。
24	岐阜大学医学部等跡地が、候補地として一番有力であるのか。	建設候補地はあくまでも白紙の状態であり、今後岐阜市庁舎のあり方検討委員会において検討していただくことになっています。
25	加納地区や県庁の近くに造ってはどうか。	
26	庁舎建替えの必要性は理解できるが、廃校となる学校の建物や跡地の有効利用も含めて検討してもらいたい。	岐阜大学医学部等跡地整備基本計画において第2期整備として行政施設の整備が想定されていますが、あくまでも想定ですので、委員会も含めて白紙の状態を検討することになります。移転ありきではなく、今後現地建替え
27	市役所周辺で商売をしている者にとって移転は死活問題であるため、建替えることには賛	

	成だが、移転することだけは反対したいという思いがある。建替えは移転ありきなのか。	も含めて検討していきます。また、仮に移転する場合も、市役所の跡地のにぎわい創出は重要な課題と既に委員会で意見が出ておりますので、今後の検討において考えてまいります。
28	新庁舎を建設することは賛成だが、用地の選定は市民が利用しやすい条件で検討する必要があるのではないか。	
29	経費だけでなくまちづくりや人の流れも慎重に検討していただきたい。街は街らしくこの先存在していくことを考えても現地から柳ヶ瀬での移動が好ましいと思う。	行政としては、岐阜大学医学部等跡地がよいだろうという考えはありますが、建設候補地はこれから委員会で議論が始まる段階で、移転に伴い人の流れの変化等について検討が進んでいない状況です。まずは、先にご説明した現在の庁舎が抱えている課題を解決しなければいけないと考えています。
30	市役所をつくることによってこうしたいという気持ちを聞きたい。	今後、検討状況に合わせて、随時説明会や広報ぎふ等を様々な方法を活用して市の考え方をお知らせするとともに、市民の皆様のご意見をお伺いしながら進めてまいりたいと考えています。
31	こういう庁舎をつくって、こういう人の流れにしたいという考えに対して賛否を問いかける説明会を開催してもらいたい。	
32	岐阜大学医学部等跡地について、岐阜市は3期計画まで決めており、第1整備は図書館、第2整備は行政施設、第3期整備は本庁舎跡地に（仮称）市民文化ホールが計画されていることをはっきり言った方がいいのではないか。	岐阜大学医学部等跡地整備基本計画において、第2期整備の行政施設、及び第3期整備の（仮称）市民文化ホールの整備が想定されていますが、決定されたわけではありません。新庁舎の建設候補地等は白紙の状態であり、今後検討を行っていくこととなります。
33	合併特例債は、図書館の建設にも活用されているのか。	「みんなの森 ぎふメディアコスモス」の整備にも合併特例債を活用しています。
34	合併特例債は、今後新しく合併した場合も活用できるのか。	現行制度では、今後新しく合併しても合併特例債の対象にはなりません。
35	庁舎建替えの是非と合併特例債は分けて考えた方がいい。	庁舎の建替えは多額の事業費が必要です。市民の皆様の負担や市の財政運営への影響が極力少なくなるよう、合併特例債を含め財源のことも合わせて検討することが必要と考えています。

36	高価なものに力を置くよりも、市民の生活をもっと助けて欲しい。	いただいたご意見を踏まえ、福祉等に影響がないように、また市民の皆様の負担や市の財政運営への影響が極力少なくなるように検討してまいります。
37	合併特例債も国民の税金であり、市の負担が少ないというのはどうか。	
38	アンケートの対象者はどういう基準で選ばれるのか。また、アンケートの内容はどのようなものなのか。	アンケートは、全人口の0.5%に当たる2,100名を対象に、18歳以上の人から無作為抽出して実施する予定です。内容は、本日ご説明した現在の庁舎が抱える課題についてご意見をお聞きするなど現在検討しているところです。
39	予定されているアンケートの2,100名というのは、18歳以上だと何%になるのか。	18歳以上の人口では、0.6%になります。
40	合併特例債を活用し建替えることには賛成だが、アンケートの対象者がわずか2,100名で市民の本当の意見が聞けるのかと思う。	アンケートの対象者数は、統計学的には一定の傾向は把握できますので今回は2,100名で実施します。今後実施する際は、いただいたご意見を踏まえて数や配布方法を検討してまいります。
41	アンケートは、北部、中部、南部と地域ごとに行うべきではないのか。	無作為抽出のため、配布段階で地域ごとの割合は確認できませんが、お住まいの地域を調査項目に入れますので、集計時に各地域のご意見を確認することが可能と考えています。
42	今回の説明会もそうだが、こうした検討を行っていることを全市民にしっかりと広報し知らせしてほしい。	今後も、広報ぎふや市ホームページへの掲載、今回開催した説明会やアンケートなど様々な方法を活用し広く市民の皆様にお知らせするとともに、ご意見をお聞きしながら慎重に検討してまいりたいと考えています。
43	市民に対する説明をしっかりと行い、市民の声を吸い上げて今後の検討に入っていくべきである。	
44	この先には地域への説明も必要と考えるので、地域への説明会をしっかりと計画していただきたい。	検討の進捗状況を踏まえながら、地域への説明会も検討してまいりたいと考えています。
45	老朽化による建て替えはいたしかたないと思うが、ただプロジェクターで映した資料を読む	いただいたご意見は、次回開催する際の参考にさせていただきます。

	み上げるだけの説明なら、前に出てスクリーン横で話すべきだと思う。	
--	----------------------------------	--

②北部コミュニティセンター会場

	ご意見等(要旨)	岐阜市の考え方
1	100年保つものという意見がありますが、建築が決まってから構想を考えるものだと思う。東北の関係で、建築費が上がるが見込まれるので早く建設しないとイケない。	当地域は南海トラフ巨大地震等の大規模地震の発生が危惧されており、災害対応拠点となる本庁舎が地震で壊れることがあってはならず、早急に対応しなければならないと考えています。
2	市民のために作るのか、市職員のために作るのか。	本庁舎が大地震時に災害対応拠点として機能するためだけではなく、バリアフリーやワンストップサービス化などを目指し対応する必要があると考えています。
3	医学部跡地にワンストップサービスの市庁舎についての要望書を出しても、何も反映されなかった。今の段階で市庁舎の説明会とはどうなっているのか。	前に出された要望書を把握しておらず申し訳ありません。新庁舎を建設する場合は、ワンストップサービスを行えるものを目指したいと考えています。
4	他都市の庁舎規模に比べ、岐阜市新庁舎の4万㎡で建築費200億円は大規模であり、本当に必要な規模か。	建築費用の200億円は、国の地方債算定基準により算出した規模から算定した仮定値です。新庁舎の規模は、機能や建設候補地とともに岐阜市庁舎のあり方検討委員会で今後検討していただく予定です。
5	現在5か所にて25,000㎡位を、なぜ40,000㎡に増加させる必要があるのか？	バリアフリー化など現在抱えている課題の解消には、一定の床面積の増加が必要と考えています。
6	建設候補地や規模等について、岐阜市庁舎のあり方検討委員会は予定の6月までに検討できるのか。移転、規模はありきではないか。	行政としては、これまで検討を進めてきた結果、岐阜大学医学部等跡地への移転が最良と考えています。しかし、岐阜市庁舎のあり方検討委員会では、それにとらわれず白紙の状態を検討していただくこととしています。なお、ご意見のスケジュールは第1回会議で

		示されたものですが、委員長から各委員にはこのスケジュールに左右されず必要な審議は十分行っていく旨が伝えられています。
7	検討委員会の委員に市民の意見を聞いてもらいたかったが、説明会に出席していないのはなぜか。	今回の説明会は、岐阜市が開催しています。なお、説明会でいただいたご意見は、委員会に報告します。
8	アンケートはいつやるのか。アンケートの答えについて、検討委員会に反映されるのか。	アンケートは3月中に実施予定です。また、アンケート結果は、審議の参考にしていただくため委員会に報告します。
9	市民説明会は3回で終わりなのか。今後も実施するのか。	今回の説明会は3会場ですが、今後も検討の進捗状況を踏まえながら、説明会をはじめ意見募集、市政モニター等様々な方法を活用して市民の皆様のご意見をお聞きしながら、慎重に検討を進めてまいります。
10	ホームページではこの説明会を知ることが難しい。ホームページでもトップページにないと探すのは難しい。広告媒体をもっと活用して発信していくべきである。	今回の説明会は、市ホームページや広報ぎふへの掲載の他、各事務所、各コミセン及び地域の公民館にチラシを配布する等で周知に努めましたが、より多くの方に伝わる方法について検討してまいります。なお、ホームページは、トップページの「重要な施策・事案」から直接訪れられるよう改善します。
11	現庁舎の場所になぜ建て替えしないのか。	建設候補地はあくまでも白紙の状態であり、今後岐阜市庁舎のあり方検討委員会において検討していただくことになっています。検討にあたっては、現地建替えも含めて行います。
12	2008年、2011年に岐阜新聞の発表と現在の関係を説明してほしい。20階建と掲載されたがどう関係しているのか。	岐阜大学医学部等跡地整備基本計画において、第2期整備の行政施設、及び第3期整備の（仮称）市民文化ホールの整備が想定されていますが、決定されたわけではありません。新庁舎の規模等は白紙の状態であり、今後検討を行っていくこととなります。
13	市庁舎の跡地に、文化施設を建設するのはいい	現時点では跡地が発生するかどうかは未定で

	つ頃を考えているか。	す。また、庁舎跡地に文化施設を整備することが、岐阜大学医学部等跡地整備基本計画で想定されていますが、計画通り進めるか検証が必要であると考えています。
14	岐阜大学医学部等跡地は、庁舎を建築する余地はあるか。もしそれが厳しいようであれば、学校の統廃合による跡地を活用したらどうかと思う。	新庁舎の建設は可能です。学校の敷地については、建設候補地の検討過程でその他の候補地と比較検討していくことになると考えています。
15	人口減少、高齢化、人の流れ等岐阜市全体のビジョンの中で庁舎はどうあるべきか考えを示してほしい。	人口減少により職員数も減り、必要な機能が少なくなると思います。一方で、高齢化が進めば福祉サービスの拡充が必要となり、業務が増えるかもしれません。また、道州制などの地方分権が進みますと、基礎自治体である市の業務量は増えることが想定されるなど、様々な要素を考慮して検討する必要があると考えています。また、まちづくりとも関係することですので、そうした点も踏まえながら検討してまいりたいと考えています。
16	市長が建替えをすと言っているのに、結論ありきではないか。3回の説明会で、市民の声が拾えるのかが疑問であり、建替ありきの説明会ではないか。	行政としては「建替える」ではなく、「建替えるべきだ」と考えています。 「建替える」という意思を固めるにあたっては、市民の皆様のご意見をお聞きしながら慎重に検討を進めてまいります。
17	市民と行政の話だけでなく、市民同士との対話もさせてほしい。	今後開催する際の参考にさせていただきます。
18	ここに集まった各人が各町内で全権を委任されたわけではない。参考意見にはなるが、決定的な意見ではなく少数意見でしかない。	今後も、広報ぎふや市ホームページへの掲載、今回開催した説明会やアンケートなど様々な方法を活用し広く市民の皆様にお知らせするとともに、ご意見をお聞きしながら慎重に検討してまいりたいと考えています。
19	説明会の参加者が少ないのは、住民自身の問題なので気にする必要はない。	
20	この説明会の結果は一般に公開するのか。説明会後は、どのように市民に伝えていくのか。	説明会の開催報告は、市ホームページ等で公開する予定です。今後も市ホームページや広

		報ぎふ、説明会等様々な方法を活用して広く市民の皆様を検討状況等をお知らせしてまいります。
21	3回の説明会、2,100名のアンケートでは少ないように感じる。市民の声をもっと聞いてほしい。	アンケートの対象者数は、統計学的には一定の傾向は把握できますので今回は2,100名で実施します。今後実施する際は、いただいたご意見を踏まえて検討してまいります。
22	アスベストが危険という説明があったが、現在地震が起きた場合の対策はどうなっているのか。	アスベストが飛散しないように天井板で覆っており、地震で天井板が外れない限り飛散はしません。現時点で地震が発生した場合は、岐阜市地域防災計画及び岐阜市業務継続計画等に基づいて対応し、本庁舎が使えない場合は消防本部に災害対策本部を設置することにしていきます。
23	地震が「冬場雪が降っている時」や「台風が接近しており」交通途絶した場合、職員は集まれるのか。	大地震など職員の参集率が低下する状況を想定し、行政機能の早期復旧のための事前対策として「岐阜市業務継続計画」を策定していますので、当該計画に基づいて対応します。
24	コンクリートの構造物は90年、100年もつと言われるが、耐用年数が短いのではないかと。せつかく建替えるなら、90年保つものを作るべきだ。	鉄筋コンクリート造の建物は、一般的に耐用年数50年と言われております。本庁舎は現在48年が経過しており、建替えに必要な期間を考慮すると耐用年数を超過するため、今回検討をはじめたものです。新庁舎を建設する場合は、長く使い続けることができるものを目指したいと考えています。
25	災害拠点にしても、想定外の地震が来た場合は建物が壊れて機能する可能性は低い。	南海トラフ巨大地震発生時には、本市は震度6弱から6強の揺れが想定されています。新庁舎を建設する場合は、この震度を考慮して建設することを考えています。
26	50年経つと日本の人口は半分になるので、今の人口ではなく、将来の人口を見越して建設すべきである。また、20~30年後にはインタ	新庁舎の規模については、岐阜市庁舎のあり方検討委員会で今後検討していただくことになっています。なお、検討にあたっては、人

	一ネットが発達し、市庁舎に行かなくても用が足せるようになることも考えられる。	口やICTの発達に加えて、少子高齢化、地方分権や都市内分権の進展といった様々な要素を考慮する必要があると考えています。
27	図書館を建設する際に、一緒に検討すればもっといいものができたのではないか。これから、一緒にすることが出来るのであれば、駐車場の確保や交通の便等を考慮すると良いと思う。	岐阜大学医学部等跡地整備につきましては、厳しい財政状況や変化の激しい時代に対応していくため、財政状況等との整合を図りながら段階的に行っていくこととし、市民意見等で要望の高い施設であること等を踏まえ、「みんなの森 ぎふメディアコスモス」を第1期整備としたものです。駐車場や交通の利便についてのご意見は、今後の検討の参考にさせていただきます。
28	増築等を行っても経費が高くつくので、一刻も早く庁舎を建て替えた方が良い。基金があるなら、借金を少しでも減らすようにした方がよい。	基金は平成25年度末見込みで約330億円ありますが、目的別に細分化されています。それぞれを有効活用し、借金をしなくて済むように取組んでいきたいと考えています。
29	建設の費用については、安く十分保つように、市民の負担を減らしてほしい。	市民の皆様の負担や市の財政運営への影響が極力少なくなるように検討してまいります。
30	水道管などインフラの更新費は増えているのか。今後のインフラの更新費用の増大を踏まえて、市庁舎に200億円かける余裕があるのか。	インフラ資産を含めた市全体の公共施設の更新費用は、平成45～54年の10年間にピークを迎え、1年あたり約290億円が必要になると見込まれます。そのため、更新費用のピークに備え、今後、更新費用の縮減と計画的な取り組みによる平準化を図るため、公共施設の集約・効率化、配置の見直し及び長寿命化等の方策を検討してまいります。
31	他市の現状はどうなのか。	中核市では、秋田市、長野市及び高知市が新庁舎の設計又は建設を行っており、旭川市、青森市、尼崎市及び長崎市が検討しているところです。(平成25年9月末調査)
32	いろいろな意見がでていますが、建替は必要なので進めていただきたい。	いただいたご意見は今後の参考にさせていただきます。

③南部コミュニティセンター会場

	ご意見等(要旨)	岐阜市の考え方
1	耐用年数は50～60年か。	鉄筋コンクリート造の建物は、一般的に耐用年数50年と言われております。本庁舎は建設から48年が経過しており、今すぐ工事を開始しても耐用年数を超えることとなります。
2	本庁機能が5カ所に分散しているが、建替えになれば集約されることになると思う。その場合、職員数の需要見込みはどうか。	本庁舎等5つの庁舎で、正職員と嘱託やアルバイト等の非正職員を合わせて約1,700人が勤務しています。今後の職員数は、人口減少のみを考慮すれば減少することとなります。一方で、地方分権による権限移譲や道州制の動向、高齢化に伴う社会保障関係の業務の増加等を見据えると、基礎自治体である市の業務量が増えていくことが予想されます。検討にあたりましては、人口も含め様々な要因を考慮してまいりたいと考えています。
3	新庁舎を建てた場合、ランニングコストはどうか。	現在の本庁舎は48年前に建設され、冷暖房を中心にエネルギー効率が非常に悪くなっています。試算によれば、仮に新庁舎の面積を4万㎡に増やしても現在と同程度のエネルギー消費になると考えています。
4	庁舎機能の一極集中では、大きな地震でその建物が被害を受けると機能しなくなる。各地域にある事務所などの市役所機能が重要になると思うが、その辺りを考慮しているのか。各事務所の利用状況はどうか。	事務所は、市民の皆様の身近な窓口として戸籍や税の証明などの業務を行っており、多くの市民の皆様に身近な行政サービスの窓口として事務所をご利用いただいています。今後につきましては、高齢化が進んでいること等を踏まえながら、身近な行政サービスのあり方について検討していくことが必要であると考えています。
5	各事務所の役割を考えると、新庁舎は小規模でいいと思う。パソコンもあり、TV会議等もあるため、簡素化を図って建替えを考えてほ	管理部門等の本庁機能は基本的に分散せずに一カ所にまとめた方がコストや業務効率の点で合理的であると考えています。市民の皆様

	しい。	の身近な行政サービスのあり方については、少子高齢化等を踏まえながら、検討していく必要があると考えています。なお、新庁舎の機能や規模につきましては、岐阜市庁舎のあり方検討委員で今後検討していただく予定です。
6	車に乗れない人の増加、孤独死など、生活圏に市役所が必要であると考え。住民の生活実態にあった市の機能を検討していく必要がある。	現在、本庁舎をはじめ東部や西部など6つの事務所及び柳津振興事務所の計8か所に、市民の皆様がよくご利用される戸籍や住民票、税証明そして福祉や国保関係などの窓口があり、市民の皆様の身近なところで行政サービスを提供する重要な役割を果たしています。今後始まるマイナンバー制を有効に活用するなど市民の皆様の身近なところで充実した行政サービスが提供できるよう検討してまいりたいと考えています。
7	市の人口重心地は、柳津合併によりどこに移ったのか。推測でも分かれば教えて欲しい。	平成22年の国勢調査の結果によれば、本庁舎の位置が人口重心地になります。
8	本庁舎、南庁舎が狭く分散し、用事が一カ所で済むことが少ない。ワンストップサービスとして広い1、2フロアに集約することは、非常に便利になると思う。	新庁舎を建設する場合は、ワンストップサービスを行えるものを目指したいと考えています。
9	市役所を建て替えた後、跡地に何をつくるのか。跡地に市の美術館をつくってほしい。文化振興をうたっているなら、総合計画で行ってほしい。	現時点では、跡地が発生するかどうかも未定です。なお、新庁舎を建設する場合は、ギャラリー機能などの機能を付加することも検討してまいります。
10	駐車場に入る際に不便を感じている。将来的に赤字になると考えられる競輪場の跡地に移転したり、愛知県のように市役所と県庁を同じ場所にするなど駐車場に入りやすいようにしてほしい。	駐車場は出来るだけ増やしたいと考えています。建設候補地については、ご意見にある競輪場の跡地や小中学校の跡地など様々な考えがありますので、それらを十分に比較検討してまいりたいと考えています。

		<p>なお、競輪は現在黒字であり、今後も出来るだけ長く事業を継続してまいりたいと考えています。</p>
11	<p>県庁が移転をした際に、すぐに会議室が不足するなどがあったので、すぐ手狭にならないよう先の見通しを持って行ってほしい。</p>	<p>新庁舎の機能については、今後岐阜市庁舎のあり方検討委員会において検討していただくことになっています。いただいたご意見は、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>
12	<p>デザインを重視して使いにくい建物にならないようにしてほしい。</p>	
13	<p>太陽光発電等省エネも考えた建物をお願いしたい。また、安全面や衛生面への配慮もお願いしたい。</p>	
14	<p>新庁舎はいつでも駐車できるような大きなスペースを作っていただきたい。</p>	
15	<p>新庁舎は自動車駐車場だけでなく、駐輪場も十分広く作っていただきたい。</p>	
16	<p>新庁舎は市民が利用できる会議室を設置してほしい。</p>	
17	<p>新庁舎の玄関前に公共交通(バス)の停留所を設置してほしい。また、バス停から玄関までは屋根を付けてほしい。</p>	
18	<p>新庁舎は岐阜駅に最も近いところがよい。</p>	<p>建設候補地はあくまでも白紙の状態であり、今後岐阜市庁舎のあり方検討委員会において検討していただくことになっています。いただいたご意見は、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>
19	<p>新庁舎は県庁に近いところがよい。</p>	
20	<p>岐阜市の中心市街地や柳ヶ瀬をより活性できる場所にしてもらいたい。</p>	
21	<p>岐阜大学医学部跡地整備基金は、これから43億円を積み立てるのか。</p>	<p>この43億円は既に積み立てられた分です。これまで積み立ててきて、ぎふメディアコスモスの整備に使った残りが43億円ということです。</p>
22	<p>岐阜大学医学部跡地整備基金の43億円は、跡地に庁舎を建設しないと有効に使えないのか。</p>	<p>資料では、庁舎を跡地に建設した場合に使える基金としていますが、跡地に整備するのであれば庁舎以外のものにも使うことができま</p>

		す。また、議会で基金の目的等を規定する岐阜市基金条例の改正が認められれば、他の用途に活用できますので、いずれにせよ無駄になることはありません。
23	高島屋南地区の市街地再開発事業の公共施設の関連性はあるのか。	再開発ビルに一部公共施設を入れることが予定されていますが、市民の方が使われる公共施設であり、事務所である庁舎とは直接関連はありません。
24	今日の意見を岐阜市庁舎のあり方検討委員会に伝えてもらい、意見を踏まえて庁舎の規模や位置を検討してもらいたい。	説明会でいただいたご意見につきましては、審議の参考にさせていただくため委員会に報告します。
25	今後のスケジュールはどのようになっているのか。	合併特例債を活用し平成 32 年度に完成するものと仮定した場合ですが、平成 26 年度中に機能、規模及び建設候補地を決定し、平成 27 年度からの 3 年間で基本・実施設計、その後、平成 30 年度から 3 年間で建設というスケジュールを考えています。
26	市民にどのようにして知らせていくのか。	今後も、広報ぎふや市ホームページへの掲載、今回開催した説明会やアンケートなど様々な方法を活用し広く市民の皆様にお知らせするとともに、ご意見をお聞きしながら慎重に検討してまいりたいと考えています。